

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

12

平成7年

(1995)

月号

NO.469



よ～し！ショベルカーと綱引きだ！！

朝日町産業まつり



「あつ」と驚く神輿も登場 劇団「りんご村から」大熱演

町青年団OBを中心とした若者の劇団「りんご村から」の公演が十一月二十五日、中央公民館で開かれ、楽しみにしていた町民ら約三百人が訪れました。

九回目となる今年は、西村山農業共済青年部（Y・N倶楽部）も参加して、子宝にめぐまれる祭りを復活させようという「ムラ祭りおくまつり」を上演しました。中には「あつ」と驚くユニークな神輿も登場し、会場は大爆笑。団員たちのユーモアあふれる熱演ぶりに、盛んな拍手が送られていました。

また作ってみたい！ つる細工に感動の子供たち

高齢者と子供たちとのふれあいを通し、伝統的なつる細工の技術を受け継ぐと十一月十二日、「つる細工講座」が中央公民館で開かれました。

小学生の親子十組、二十人が参加。講師は川村栄八さん（舟渡）ら、高齢者センター民芸部のみなさんです。今回は「籐」

劇団「りんご村から」は、昭和六十二年に発足し現在団員は二十人。「消防団物語」や「りんごの色づく季節」など、身近なものを題材に創作劇を毎年発表しています。大道具や小道具なども、すべて団員の手づくりという、プロ顔負けの劇団です。

座長で自らも出演した岡崎文彦さん（下芦沢）は、「こんなに大勢の人がみてくれるなんて、最高の気分です。これからも、みんなが共感できる作品をつくりたい」と笑顔で語り、大満足といった様子でした。

を材料にして、くだものかご作りに挑戦しました。はじめに底の部分を作り、二時間あまりで自分だけの、世界でたった一つのくだものかごが完成。

参加者たちは「きれいなかごが出来たね」「楽しかった、また作ってみたい」と、うれしそうに語り、感動していました。





町の話題

「名入りりんご」に感激

「二百人がりんご狩り来町」

首都圏のご婦人を対象に「あなただけのりんご狩りツアー」と銘打った山形の果物体感ツアー一行二百人が十一月十七日、菅井利太郎さん（沼向）の園地でりんご狩りを楽しみました。

たわわに色付いたふじりんご二本には、参加者たちの名前を印刷したシールや、めでたい鶴亀などを印刷したシールが貼られていました。自分の名前の入ったりんごを見つけては、思わず歓声をあげたり、慣れない脚立に必死で上っては、一生懸命探す参加者も見受けられました。

また、参加者たちは光センサーによる最新式の選果方式を見学。お土産用のりんごを注文したり、なかには一袋千円の規格外りんごをビニール袋に買い求める姿が見られました。

今回のツアーのねらいについて、主催した山形県青果物基金の深井尚也常務理事は、「りんごのなっている様子を見て、新鮮な果実を存分に味わってほしいと企画しました。参加者も山形のおよそ、朝日町のりんごのおいしさを十分堪能できたことと思います」と話してくれました。

小学生のために

オーケストラがやってきた！

「オーケストラの生の演奏を聴きたい」。そんな小学生の願いをかなえる、山形交響楽団の「音もだちふれあいコンサート」が十一月二十一日、農業団地センターで開かれました。

会場には町内の小学四年生から六年生までの全児童、四三二人が大集合。「運命」（ベートーヴェン）や「美しく青きドナウ」

など、山形交響楽団四十人による迫力ある演奏を、目を輝かせて聴き入っていました。

実際に音を出してみせ、「小鳥のさえずりのような音色のピッコロです」と、楽しく楽器を紹介。また、全児童とオーケストラで「気球にのってどこまでも」を大合唱し、元気な声が会場いっぱい広がっていました。



都市計画法および 建築基準法により

新用途地域が決定

都市の健全な発展と秩序ある整備を目的とする都市計画法・建築基準法が、平成四年に改正されました。これに伴って、市街地の土地利用や建物の用途について定めた用途地域を、変更することになりました。

朝日町では、昭和四十九年に都市計画用途地域の決定をして以来、初めての変更となります。今回の改正では、住環境の保護および市街地形態の多様化への対応を目的として、用途地域の種類を細分化したものです。

指定替えにあたっては、住居系の用途地域をこれまでの住居地域一種類から、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域の三種類に細分化。商業系（近隣商業地域）と工業系（準工業地域、工業専用地域）を合わせた用途地域は、これまでの四種類から六種類に

なりました。

具体的には、町営住宅清水ハイツや高等学校周辺の経ヶ崎地区については、周辺に配慮した住環境の整備を図るため、住居地域から第二種中高層住居専用地域にしました。

また、国道二八七号線沿いの中郷地区は、路線型の商業施設等の立地が進行しており、第二種住居地域に、この二地区を除いた従来の住居地域は第一種住居地域になりました。

さらに中央通り北側、上宿地区西側の近隣商業地域は、社会的情勢の変化や道路網の整備等に伴い一部縮小し、第一種住居地域にするなどの指定替えを行い、十月二日に決定しました。

なお、新用途地域は左の図のとおりです。この新用途地域の指定について、詳しいことは建設課へ問い合わせてください。

用途地域が6種類に

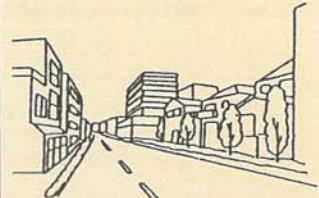
イメージ図

第二種中高層住居専用地域



主に中高層住宅の良好な環境を守るための地域です。病院、大学などのほか、1,500㎡までの一定のお店や事務所などが建てられます。

第一種住居地域



住居の環境を守るための地域です。3,000㎡までの店舗、事務所、ホテルなどは建てられます。

第二種住居地域



主に住居の環境を守るための地域です。店舗、事務所、ホテル、パチンコ屋、カラオケボックスなどは建てられます。

近隣商業地域



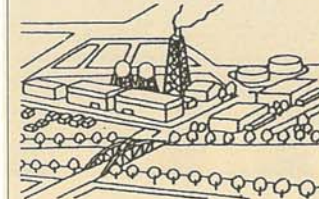
近隣の住民が日用品の買物をする店舗等の業務の利便の増進を図る地域です。住宅や店舗のほかに小規模の工場も建てられます。

準工業地域



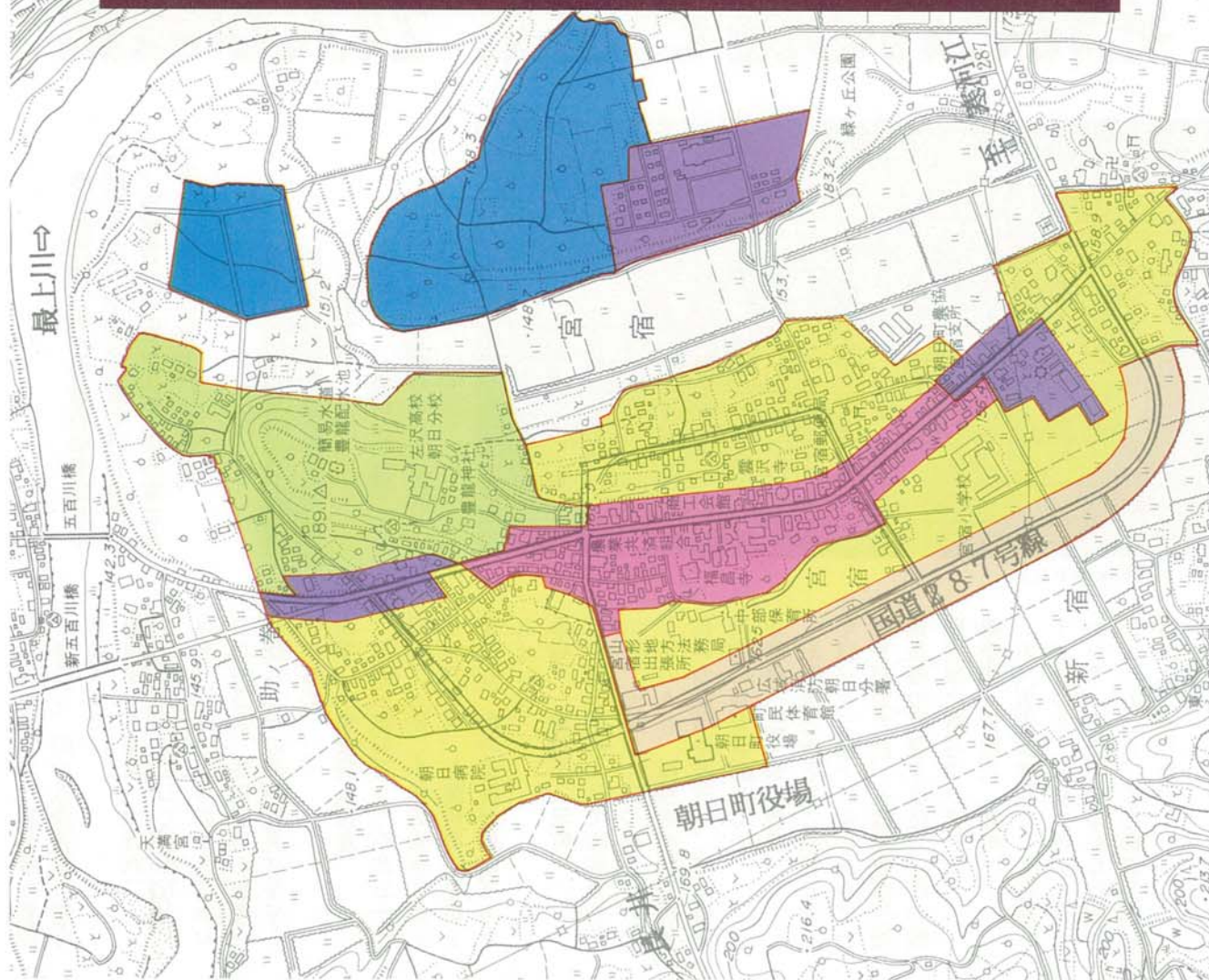
主に軽工業の工場等の環境悪化の恐れのない工業の業務の利便を図る地域です。危険性、環境悪化が大きい工場のほかは、ほとんど建てられます。

工業専用地域



専ら工業の業務の利便の増進を図る地域です。どんな工場でも建てられますが、住宅、お店、学校、病院、ホテルなどは建てられません。

朝日都市計画用途地域図



容 積 率

建築物の延べ床面積の敷地面積
に対する割合

建ぺい率

建築物の建築面積の敷地面積に
対する割合

凡 例

用 途 地 域 名	容積率	建ぺい率
第二種中高層住居専用地域	200	60
第一種住居地域	200	60
第二種住居地域	200	60
近隣商業地域	200	80
準工業地域	200	60
工業専用地域	200	60

平成7年度 朝日町功労者等表彰式

それぞれの道で功績、24人が受賞

今年度の朝日町功労者等表彰式が十一月二十日、中央公民館で行われました。受賞者は次の二十四人のみなさんです。おめでとうございます。

功労者表彰

《自治功労》

●佐竹 薫氏（松程）

町議会議員として昭和三十八年以来、八期三十二年の永きに



喜びの受賞者のみなさん

わたり尽力され、議長等の要職を歴任し、町の振興発展に寄与されました。

●白田 太郎氏（大谷六）

町議会議員として昭和五十年以来、五期二十年の永きにわたり尽力され、副議長等の要職を歴任し、町の振興発展に寄与されました。

●堀 恒夫氏（舟渡）

町議会議員として昭和五十年以来、五期二十年の永きにわたり尽力され、副議長等の要職を歴任し、町の振興発展に寄与されました。

●堀 重雄氏（元町）

町議会議員として昭和五十年以来、五期二十年の永きにわたり尽力され、総務建設常任委員長等の要職を歴任し、町の振興発展に寄与されました。

●阿部 賢一氏（今平）

町議会議員として昭和五十八年以来、三期十二年の永きにわたり尽力され、文教厚生常任委員長等の要職を歴任し、町の振興発展に寄与されました。

●豊嶋 武麿氏（本町）

町代表監査委員として昭和六十二年以来、二期八年の永きにわたり、公正で効率的な行政執行に尽力され、町の振興発展に寄与されました。

《教育文化功労》

●佐竹 瑞穂氏（夏草）

町教育委員として、昭和五十六年から十三年六カ月の永きにわたり尽力され、委員長等の要職を歴任し、町教育文化の振興発展に寄与されました。

●長岡 京子氏（西町）

昭和五十八年から三期十二年の永きにわたり町教育委員として、また、山形県公立学校教職員として永年にわたり勤務され、町教育文化の振興発展に寄与されました。

●遠藤 清蔵氏（真中）

山形県公立学校教職員として永年にわたり勤務され、町校長会長等の要職を歴任。小学校図書充実のため多額の寄付をされるなど、町教育文化の振興発展に寄与されました。

《社会福祉功労》

●遠藤作兵衛氏（真中）

民生児童委員として、昭和四十年から三十年の永きにわたり尽力。同協議会の総務として積極的に福祉事業を推進し、地域福祉の向上に寄与されました。

●海野 多門氏（送橋）

民生児童委員として、昭和五十二年から十八年の永きにわたり尽力。同協議会の副総務として、地域福祉の向上に寄与されました。

ました。

●多田きよ子氏（大町）

民生児童委員として、二十一年の永きにわたり尽力。同協議会の婦人部長として、地域福祉の向上に寄与されました。

●小関 絹氏（新宿）

民生児童委員として、昭和三十七年から三十三年の永きにわたり尽力され、地域福祉の向上に寄与されました。

●清野 きよ氏（四ノ沢）

民生児童委員として、昭和五十二年から十八年の永きにわたり尽力され、地域福祉の向上に寄与されました。

善行褒賞

●佐直 信雄氏（本町）

宮宿公民館前でのラジオ体操の指導者として、二十年の永きにわたり、参加者の指導と世話に努められています。

●堀 登喜子氏（栗木沢）

寝たきりとなった義母や義父を永年にわたり、昼夜を分かたず献身的に介護されました。

●渡辺トモ子氏（前田沢）

寝たきりとなった義母を永年にわたり、昼夜を分かたず献身的に介護されました。

賞詞

●安藤 勇八氏（松原）

●鈴木セツ子氏（太郎二）
倒れている人を発見され、救急車を要請するなど迅速な対応により救助しました。

技能者表彰

●鈴木 昭寿氏（宿）

四十二年間にわたり石工として精励され、町石工業の中心として活躍。たゆまざる技術の向上に努められています。

●鈴木 好光氏（本町）

四十五年間にわたり建築大工として精励され、昭和四十一年に建築大工指導員の免許を取得。常に技術の向上に励み、後継者の育成に努められています。

●布施 寛氏（大町）

四十年間にわたり菓子製造に精励され、昭和五十四年に和製菓子一級技能検定に合格。自己研さんに励み技術の向上に努められています。

●長岡 直子氏（大谷一）

三十一年間にわたり美容業に精励され、業界事業へも多大に貢献し、合わせて自らの技術の向上に努められています。

●白田 吉蔵氏（常盤）

四十八年間にわたり屋根葺き工として精励され、文化財、民家の屋根葺きを行いながら、地域の職人をまとめ、技術の向上に努められています。

一平成7年国勢調査結果一

10月1日に行われた国勢調査の結果、朝日町の人口と世帯数が明らかになりましたのでお知らせします。

（ ）は前回の平成2年との比較、△は減少

項目 地区	人 口			世帯数
	総 数	男	女	
町 全 体	9,820 (△597)	4,858 (△287)	4,962 (△310)	2,457 (△ 38)
中 部	4,723 (△221)	2,349 (△112)	2,374 (△109)	1,184 (△ 3)
西 部	2,600 (△231)	1,300 (△109)	1,300 (△122)	700 (△ 18)
北 部	2,497 (△145)	1,209 (△ 66)	1,288 (△ 79)	573 (△ 17)

- ①—1 3カ月以上にわたる出稼ぎや町外への入院、下宿をしている学生は含まれませんので、住民基本台帳の人口とは違います。
- ①—2 後日、総務庁統計局で公表する結果と異なることがあります。

多田きよ子さん（大町） 厚生大臣表彰を受賞



長い間、助産婦として活躍されている多田きよ子さん（大町）が、十一月二十八日に母子保健功労者として、厚生大臣表彰を受賞されました。

多田さんは、昭和二十二年から助産婦、昭和四十六年からは母子保健推進委員として、乳幼児検診や乳児の訪問指導に、献身的に活動された功績が認められ、今回受賞したものです。

「昔はほとんど家で出産したものです。今は設備の充実した病院で出産できて幸せですね。これからも少しでも役にたてるよう、がんばりたいと思います」と、感想を語ってくれました。

消防の機動力をアップ！ 前田沢に積載車を配備



地区民待望の積載車が十一月十九日、前田沢に配備されました。この積載車は雪道にも強い四輪駆動車で、購入価格は約二百七十万円。乗車定員は十人となっています。

これまでは、火災の際に小型ポンプを手で引いたり、軽トラツクに付け替えたりしていましたが、この積載車は直ちに現場に向かうことができ、大幅に機動力がアップされました。

ロータリー除雪車を購入

本格的な冬を前にした十一月十三日、ロータリー除雪車が新たに購入されました。

このたび購入された除雪車は、十一トン級百馬力で約二千五百万円。地球にやさしい排ガス対策型で、除雪ばかりでなく排雪もできるように、ロータリー部分が容易に排土板と交換できるものです。

町では、今年も十三台の除雪車と十四人の除雪隊員を編成し、除雪に万全を期しますので、皆様のご協力をお願い致します。



とき

第16回

朝日町産業まつり

「新時代へ今転機の時」をテーマに第16回朝日町産業まつりが、11月18日から2日間にわたり、町民体育館などを会場に開催されました。

りんご品評会や即売会、ショベルカーと子供たちの綱引きなど、多彩なイベントが繰り広げられ、これまでにない大勢の人でにぎわいました。

また、商工会と交流をしている宮城県本吉町が友情出店し、サンマやホタテなど新鮮な魚介類を、特別価格で販売して人気を集めていました。



動物とのふれあいコーナーも設置され
子供たちも大喜び



「おーっ／うまい！」三平汁を無料サービス



会場では町の工業製品や特産品が展示即売された

りんご品評会

(総出品数208点)

賞	地区名	氏 名	糖度	硬度
最優秀賞	夏 草	井 澤 壽 一	16.1	18.0
優 秀 賞	夏 草	橋 本 榮 子	17.1	17.5
金賞一席	夏 草	阿 部 吉 榮	14.9	16.2
金賞二席	大暮山	川 口 幸次郎	17.1	17.0
金賞三席	新 宿	成 原 浩	16.2	17.0



日本一の無袋ふじ

新時代へ 今転機の



つきたてのもちが無料でふるまわれた



宮城県本吉町が友情出店し、新鮮な魚介類が格安で販売された



「私にもくださ〜い」菓子づくり実演コーナーは大人気



「ほんとにもらえるの？」クイズに当選し高級カメラをプレゼント



「ほくも運転できたよ」建設機械の運転体験コーナーも設置された

みんなのひろば



長岡 太郎

佳之さん
純子さん



さあ
新婚さん

佳之さんと純さんは、クラスは違うけれども、左沢高校の同級生。初めて出会ったときに、赤い糸を感じたという佳之さんは、高校一年の夏に告白。それから6年間、お互い一筋に愛を育んできたさわやかなカップルです。

佳之さんは、4年前に父親を亡くし、母親と3人の兄弟と新築の家をかかえた一家の大黒柱。そのうえJAさがえ西村山に勤務で、左沢のケーキ屋さんに勤める純子さんとは、休みがあわず苦労したとか。でも、しっかり結ばれている二人にはたいした障害ではなく「仕事が終わってから会っていたから」とあっさりしたもの。

家族の方に二人の新婚生活の様子を聞いたところ、「もう3年もたった夫婦のよう」「兄弟が一人増えた感じ」と、すっかり家族にとけこんでいるようです。

いつまでも、今のままでいたいというお二人。あとはコウノトリさんの訪れを待つばかりかな。

すてきな仲間たち

朝日町センターりんご組合研究部



究極のりんごを求めて

名前はちょっと硬い感じがしますが、私たち部員は、りんごをつくる以外にもさまざまな活動を行って、町の基幹産業の農業を支えています。

設立されて以来20数年の歴史を持ち、層の厚いのが強味です。先日の交流会では、200人の都会女性のホスト役を務め、とても満足していただきました。毎年仲間たちで品評会を開き、技術の向上に努めています。うれしいことに、仲間の出品したりんごが県の最優秀賞に選ばれました。

部員数が減少傾向にあるのが、ちょっと悩みのタネですが、今月には東京に出向いて体験販売をする予定です。みなさんも私たちのりんごを、ぜひ食べてみてください。

園児B「ほくもお母さんに怒られると、おもちゃ箱にかくれるよ」

保母「そうかな、怒ったんじやない？」

園児B(三歳)「恥ずかしくてかくれたんだよ」

保母「あら、雲の中にかくれてしまった」

みんな「飛行機だ、飛行機だ」

並んでバスをまつているとき



お店屋さんごっこ

せんせい
ふたば保育園
あ・め・ね



井澤 壽一さん
(夏 草)

ひとことトーク

りんご品評会で 最優秀賞

～りんごづくりは
土づくりから～

町産業まつりとかがえ西村山農協で行われた無袋ふじのりんご品評会で、共に最優秀賞を受賞しました。

大変栄誉ある賞なので、家族みんなで喜んでいました。

りんごづくりは学校を卒業すると同時に始めたので、もう三十年近くになります。その間、試行錯誤を繰り返しながらやってきましたが、自慢できるのはここ二十年程、化学肥料はほとんど使わず、米ぬかと骨粉を主体とした有機肥料による土づくりをしていることです。

りんごの花が満開になると収穫日の予定をたて、逆算して仕事の日程を決めています。一昨年に夏草果樹組合が、町の産業大賞奨励賞を受賞したのもいい励みになっています。

今後も品質の高いりんごづくりに、頑張りたいと思います。



「私の晴れ姿です」

志藤彩萌ちゃん(3歳・大谷一)
(両親は幸次さん・重子さん)



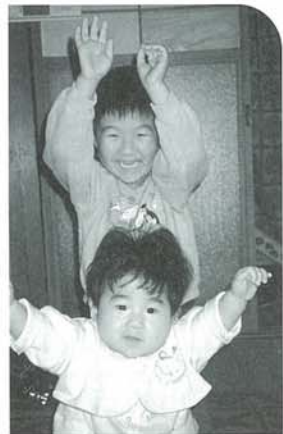
「ぼくの車、かついいでしょう」

斉藤一馬ちゃん(8カ月・夏草)
(両親は利彦さん・浩美さん)



「散歩に行ってきたーす」

菅井千菜美ちゃん(1歳8カ月・宿)
(両親は正彦さん・千草さん)



「バンザイ」

斉藤椋太ちゃん(3歳・大町)
みづきちゃん(10カ月)
(両親は裕一さん・知充さん)

おじゃまします 社長さん

(株)アサヒ技研

(西原工業団地)



西原工業団地に建設された新社屋



社長 柴田美喜雄さん
昭和26年3月8日生まれ
趣味 ゴルフ 油絵

▼何を造っているのですか。

機械等の部品にコーティングや吹き付け塗装、メッキをするための「表面処理ひっかけ治具」を製造しています。

県内では当社一社のみで、受注割合は県内七十%、県外三十%となっており日立、富士通、オーヤマ照明等の会社からも注文があります。

▼会社の概要を教えてください。

当初は、現会長である柴田勘作氏が昭和四十七年五月に家族三人、従業員二人の五人で始めました。その後従業員も増え、昭和五十年四月に有限会社を設立。今年十一月には、西原工業団地に新社屋を建設し、株式会社としてスタートしました。

▼自慢できるものは何ですか。

治具は各社が製品を造る際に必ず必要なもので、需要が多く事業が順調に伸びていることです。受注先からは設計図が来ないので、各社の作業工程に合わせて自分で考案し、治具を製造しています。

▼社長がいつも心がけていることを教えてください。

各社との交流や親睦を図り、良い製品を期限内に納付し、発注して下さる各社の発展に、少しでもお役に立てるように努力することです。

福祉の身近な相談者

民生児童委員を新たに委嘱



ひとり一人に委嘱状を交付

住民の福祉に関する身近な相談者として、地道な活動にあたる民生児童委員。このほど三年間の任期満了に伴い、十二月一日に西部公民館において、新たな委員の方に委嘱状が交付されました。

また席上、長年にわたり活躍された退任委員、現委員あわせて七人へ、厚生大臣などからの感謝状が贈られました。

地区の民生児童委員は次の方々です。()は担当区。

本町 安藤 繁蔵(本町)
西町 鈴木 たか(西町)
栄町 安藤 芳雄(栄町)
助ノ巻 布施ミツ子(助ノ巻・雪谷)
大町 安藤チヨエ(大町)
元町 鈴木 菊子(元町・西原)

前田 沢	長岡良太郎(前田沢・新宿)	四ノ沢	清野 美恵(四ノ沢)	小原	大野 孝(小原・宿)	沼向	菅井 善治(沼向・大隅・平)	送橋	渡邊 太一(古楨・送橋)	下芦沢	大滝 伸之(下芦沢)	水本	高橋 壽男(水本)	松原	松尾 信朋(杉山・松原)	宇津野	細谷 芳男(宇津野・大滝)	常盤	白田 光郎(常盤)	夏草	橋本 藤雄(夏草・長沼)	西船渡	小関 長壽(西船渡)	八ッ沼	小松 壽一(八ッ沼・高田)	能中	鈴木たか子(能中)	太郎二	松田 俊子(太郎二・太郎三)	太郎三	大井やゑ子(太郎三・石須部)	立木	阿部啓次郎(立木)	白倉	渡辺 友吉(白倉)	松程	阿部富美男(松程)	大船木	佐藤 秀雄(今平・大船木)	大谷一	大谷 五助(大谷二・大谷三)	大谷三	白田 昭吉(大谷三・大谷四)	大谷五	長岡ムツコ(大谷五)	大谷六	長岡嘉一郎(大谷六)	中沢	堀 健吾(大谷・中沢)	真中	遠藤 清蔵(真中・舟渡)	栗木沢	菊地 徳一(栗木沢・川通)	大暮山	阿部 喜由(大暮山)	大沼	小林 幸雄(大沼)
------	---------------	-----	------------	----	------------	----	----------------	----	--------------	-----	------------	----	-----------	----	--------------	-----	---------------	----	-----------	----	--------------	-----	------------	-----	---------------	----	-----------	-----	----------------	-----	----------------	----	-----------	----	-----------	----	-----------	-----	---------------	-----	----------------	-----	----------------	-----	------------	-----	------------	----	-------------	----	--------------	-----	---------------	-----	------------	----	-----------

プロフィール

鈴木由美さん(22歳)

大暮山・天秤座・O型

ふれあい莊勤務



Q 趣味・特技は
スポーツは観るのも、するの
も好きです。球技が得意で、中
学時代はソフトボールをやっ
ていました。

Q 休日の過ごし方は
夜勤明けは、家で寝ている日
が多いです。暇があればドライ
ブをしたり、買い物に出かけ
たりしています。

Q 今、してみたいことは
青森へ旅行したときの印象が
よかったので、もう一度行っ
てみたいですね。夏に北海道へも
行ってみたいです。

Q 理想の男性と結婚は
今のところ仕事を第一に考え
ているので、結婚は考えていま
せん。理想の男性は、一緒にい
て楽しくて、自分と考えの合う
人がいいですね。

Q どういう町にしたいですか
六月に東京に行き、改めて自
然の多い朝日町に生まれて、こ
こで働ける喜びを感じてしまし
た。住みやすさに加え、高齢化
社会に対応した福祉がより充実
した町にしたいですね。そのた
めに、私も精一杯がんばりたい
と思います。

大暮山

長岡 竜実くん
(大暮山分校3年)
郷くん
(6歳)

おじいちゃん
光一さん
(57歳)

おばあちゃん
さだあさん
(59歳)



ぼくのじいちゃんばあちゃん

ぼくのばあちゃんは、りん
ごやさんへ手伝いにいつてい
ます。畑や田んぼに行つて、
なすや白菜などを作ってい
ます。それから、よう児学級
に通っている三つのおく、
むかえをしてくれます。

じいちゃんは庭師の仕事
をしています。畑や田んぼの
仕事もしています。

じいちゃんもばあちゃんも
とってもやさしいです。ぼく
は二人にいつまでも元気で
はたいていてほしいな、と思
っています。

竜実

図書券が当たる

広報クイズ

今すぐ応募しよう!



【問 題】
問1 左の写真で朝日Aチ
ームが渡っている橋の名前は？
A 岩坂橋 B 八天橋 C 明鏡橋

問2 十月一日の国勢調査の
結果、朝日町の人口は何人？
A 一〇五六八 B 九八二〇人
C 九七八〇人

【応募方法】(12月28日締め切り)
ハガキに答えを記入し、住所・
氏名・年齢・電話番号を書き添
えの上、宮宿一一五朝日町役
場内「広報あさひまち」まで。
正解者の中から抽選で三人の方
に、図書券をプレゼントします。
どしどし応募してください。

【先月号の当選者】安藤正夫さ
ん(送橋)・笹原智江さん(新
宿)・白田俊代さん(大谷三)
(先月号の答え) ①青 ②赤
③二人

食事や入浴は

子供とふれあいの場

子供は長女が五歳、長男が一歳、私と妻、私の両親の六人家族です。三世大家族というので

しうか。その中で子育てをどうすれば良いのか、この機会に改めて考えてみました。

普段、私たち夫婦は共働きであるため、一日の中で最も多く子供と接するのは、祖父母たちです。そして、娘は保育園での

友達と先生です。したがって両親である私たちは、子供たちとゆつくり話をしたり、遊んだりするのが少なくなり、祖父母の話から、子供たちの成長を知ることでも時折あります。

ですから、食事の時や入浴の際は、意識的に子供たちと対話をするよう心がけたり、息子の場合は少々危険が伴う行動であっても、むやみに止めないで、動きのまま見ているだけにしています。そうすることによって、

をします。意味のないことや、つじつまが合わないことを話しても、そのまま少し助けて橋渡しをすると、次の話がふくらみます。

読み書きは、これといってまだの状態で、少し不安にもなりますが、そうしたふれあいによって、子供たちが友達への思いやりや、例えばいい香りを多く知ることができるといった、感性豊かな子になってくれればと願っています。もちろん人を傷

私の子育て論

長岡利幸さん(松原)

私たちが知らない昼の様子がかがえるからです。こういった子供たちの何げない行動から、子供の成長に驚いたり、喜んでりしているのが日常です。

思いやりのある

子に育てたい

また、少しでも子供たちと接しようと、時々やるのが聞き役。こちらがわざと間違えて、それを子供に説明させ、話の遠回り

つけることや、失礼な態度をしたときは、しっかりと叱ることが必要かと思えます。

やわらかい

響きの名前

私が中学時代に三年間、国語を習った片桐隆先生の話で、今も印象に残ることがあります。「子供に名前をつけるときは、やわらかい響きの名前にしなさい。そうすると叱るときに力む

ことがないので、穏やかな性格の子になりますよ。例えば百恵さんとか」(当時、山口百恵さんがスーパーアイドルでした)。

私たちは、わが子の名前をつける際、韻にこだわりました。それだけが理由ではありませんが、「愛と優」にはやさしい人に育ってほしいからです。

周囲の人に支えられて

育つ子供たち

子供は多くの人との関わりで大きくなると思います。わが家でもじいちゃん、ばあちゃん、子供たちに大きな愛情や安らぎを与えてくれる、大事な存在です。さらには、隣近所の方からも、たくさん良い刺激があります。

娘には昨年、保育園という新しい世界が広がりました。子供を取り巻く環境も昔と変わったとは言え、変わらないところもまだまだ残っているこの町で、子育てできることの安堵感があります。

これといった、すばらしい子育てをしている訳ではありませんが、私なりに実践していることを書いてみました。みなさんはどんな子育てをしていますか。



今、家庭教育の大切さが問われている

ばあちゃんの知恵袋 ⑧

お正月の魚「新巻き鮭」。ちょっと目先を変えて若向きのおもてなし料理にぴったり。冷蔵庫で1週間位もちます。

材 料	
鮭	2切れ
玉ねぎ	1/2 個
レモン	1 個
月桂樹の葉	2~3 枚
サラダオイル	適宜

- ①魚を二枚におろし、骨のない方の半身をそのまま冷凍しておきます。
 - ②半解凍のまま皮を剥ぎ、骨をはずし、斜めに薄くそぎ切りにします。
 - ③玉ねぎは薄切りに、レモンは半月の薄切りにします。
 - ④蓋付きのほうろくや瀬戸物の器に、薄切りした玉ねぎを敷き、鮭とレモンを交互に並べていきます。
 - ⑤月桂樹の葉を散らしサラダオイルをひたひたになるくらい注ぎます。(酢をいれてもおいしいです)
 - ⑥蓋をして冷蔵庫に入れ、一晩おくとレモンでしめられ、スモークサーモンようになります。
 - ⑦貝割れやプチトマトを添えてどうぞ。
- ◆塩鮭に塩気があるので塩は振らないで、胡椒は好みで振りかけて下さい。漬け残りのサラダオイルは、うま味があるのでサラダなどに利用できます。

新巻き鮭のオイル漬け

“あめっかぜ” 県代表で 国民文化祭に出場

「第10回国民文化祭・とちぎ95」の合唱祭が、11月4日栃木県の今市市文化会館で開かれ、朝日町のフォークグループ“あめっかぜ”が、さわやかな歌声を披露しました。

県代表として出場したもので、今大会に向け半年前から練習に励んできました。この国民文化祭は、合唱をはじめ華道、写真、劇、ダンス部門などがあり、言わば町の芸文祭の全国大会。他県の代表のほとんどが組曲などを大勢で合唱する中、“あめっかぜ”は「ほたる」や「しゃぼん玉」など、身障者の方が書いた詩を松田昌弘さん(大町)が作曲したオリジナル曲を披露。メンバーの一人である子供たちも、曲にあわせしゃぼん玉を吹くなど、観客に感動をあたえ注目を集めていました。

「この出演を機会に、ますます音もだちの輪が広がれば」と、笑顔で語る“あめっかぜ”でした。



よくわかる「エコミュージアム」入門 ⑦

町のことを調べる

夏休みや学校祭の時期になると、役場や町の図書館では、町の産業や歴史、自然などについて調べようとすると、たくさんの子どもの姿が見られ、年中行事の一つとなっています。

良いでしょう。

子どもたちや町民の方がほしい、町の色々なことについて書かれた本やパンフレット、録画されたビデオなど、町のすべての記録・情報を一カ所に残しておくことが必要です。

また、子どもたちも、一カ所だけでは調べきれず、あっちこっちの担当の方々に聞き回ったり、何日もかかったりと大変苦労する場合があります。おとなでも、仕事上や個人的に、「あなたの町の歴史・文化や産業について紹介してください」といった質問を受けて、どこで調べればいいのか困った、という場合があるかも知れません。そういった時に、ある場所に行く、町のほとんどのことが、本、ビデオ、パンフレットなどで、そんなに苦労しないで調べることができれば、どんなにか

図書館などと協力しながら、町の産業や自然、歴史のことについて調査し、その結果を利用しやすいように整理して、町のことをよく知りたい人のために提供することも、エコミュージアムの重要な役目の一つです。





■11月1日～30日
届出



すこやかに

(出生届)

区名	出生児氏名	父名
真中	小野 ^{あかね} 茜	重信
雪谷	鈴木 ^{ようすけ} 陽介	義彦
松程	鈴木 ^{しめんたろう} 駿太朗	宏彰



おしあわせに

(婚姻届)

大野	政	岸	本	愛
小原				福島市
鈴木	正浩	阿部	和	美
助ノ巻				山形市
渡邊	康彦	矢口	覚	美
送橋				村山市
長岡	孝司	佐藤	由	美
太郎一				横浜市
峯田	彰	志藤	春	美
大町				川通
安孫子	幸弘	工藤	直	美
西町				河北町
成原	充	黒津	紀	子
前田沢				鶴岡市
後藤	覚	佐藤	あけ	美
村山市				石須部



やすらかに

(死亡届)

区名	死亡者氏名	世帯主
送橋	清野 ^{ちよゑ} ちよゑ	政夫
沼向	佐藤 ^{たつゑ} たつゑ	軍夫
太郎一	佐藤 ^{重家} 重家	村山正市
大隅	鈴木 ^{兼夫} 兼夫	源江
大谷六	長岡 ^{勝見} 勝見	嘉一郎
大滝	佐藤 ^{耕次郎} 耕次郎	修
沼向	菅井 ^{きぬ} きぬ	金造
前田沢	鈴木 ^{吉男} 吉男	芳太郎

人口と世帯数

●平成7年11月30日現在

人口

10,043(増8)

男 4,985(増2)

女 5,058(増6)

世帯数

2,587(増6)

() 内前月比

わたしの作品

〈宮宿小学校〉



「沸騰の実験」

5年 鈴木俊吾くん



「あらしをよぶかみなりさま」

1年 くまがいつきくん



「駐在所のみえる風景」

6年 安藤明日美さん



「水族館」

3年 阿部明日香さん

だるまさんに蜂が

プレゼント？

「ウワー、だるまさんが蜂の巣の帽子をかぶっている！これはすごい」と、ちよつとした近所の話題になっています。本町の若い衆会が、おさいとうの組み立てをしていて、豊龍神社の物置にあるのを偶然発見したものの。メンバーは見事な出来栄に感心しながら、「寒い冬を前に蜂がプレゼントしたのでは？」と、想像することしきり。



春夏秋冬

編集後記

みんながバックアップしてくれたことに感謝します。▼今年は阪神大震災やオウム事件など、暗いニュースが多い年でした。そして、防災対策やボランティア活動の大切さが、改めて見直された年でもありました。▼さて、今年は十二支のトップ。来年は繁殖力旺盛なネズミにあやかり、多くの子供たちが誕生するといいですね。(安藤)

▼いま十二月号を書き終え「今年も締め切りを守り、順調に発行できたなあ」と一安心。広報担当二年目で無我夢中の私を、広報委員



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。